

**This Page Is Inserted by IFW Operations  
and is not a part of the Official Record**

## **BEST AVAILABLE IMAGES**

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images may include (but are not limited to):

- BLACK BORDERS
- TEXT CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- FADED TEXT
- ILLEGIBLE TEXT
- SKEWED/SLANTED IMAGES
- COLORED PHOTOS
- BLACK OR VERY BLACK AND WHITE DARK PHOTOS
- GRAY SCALE DOCUMENTS

**IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.**

**As rescanning documents *will not* correct images,  
please do not report the images to the  
Image Problem Mailbox.**

**THIS PAGE BLANK (uspto)**

⑩ 日本国特許庁(JP)

⑪ 特許出願公表

⑫ 公表特許公報(A)

平4-506022

⑬ 公表 平成4年(1992)10月22日

⑭ Int. Cl.<sup>9</sup> 識別記号 庁内整理番号 審査請求 未請求  
A 61 F 13/00 3 5 1 Z 7108-4C 予備審査請求 有 部門(区分) 1(2)  
7603-4C A 61 F 13/18 3 3 0 G※  
2119-3B A 41 B 13/02  
(全 7 頁)

⑯ 発明の名称 吸収性使い捨て物品

⑰ 特 願 平2-509779

⑱ 翻訳文提出日 平3(1991)11月22日

⑲ 出 願 平2(1990)5月31日

⑳ 国 際 出 願 PCT/SE90/00378

㉑ 国際公開番号 WO90/14814

㉒ 国際公開日 平2(1990)12月13日

優先権主張 ㉓ 1989年5月31日㉔ スウェーデン(SE)㉕ 8901965-7

㉖ 発 明 者 ルース, アンデルス スウェーデン, エス-412 57 ゲーテボーク, ビドブリクスガタン 13

㉗ 発 明 者 レンベルグ, ベーテル スウェーデン, エス-431 34 メールンダル, グラスベルクスガタン 76

㉘ 出 願 人 メールンリユーケ アーベール スウェーデン, エス-405 03 ゲーテボーク (番地なし)

㉙ 代 理 人 弁理士 安達 光雄 外1名

㉚ 指 定 国 AT(広域特許), BE(広域特許), CH(広域特許), DE(広域特許), DK(広域特許), ES(広域特許), FR(広域特許), GB(広域特許), IT(広域特許), JP, LU(広域特許), NL(広域特許), SE(広域特許), US

最終頁に続く

請 求 の 範 囲

1. 吸収性物品の着用時に着用者の身体に最も近くにくる液浸透性ケーシングシート(2)と、液不浸透性ケーシングシート(16)と、該二枚ケーシングシート間に包入された吸収性パッド(12)とよりなるおむつ、失禁防護帯など一時使用だけを目的とした吸収性物品(1, 1')において、該物品が少なくともその一部分にわたって該物品を分割して中央方向の細長い部分(6)と該細長い部分の各側に対称的に配置された二つの縁部分(7, 8)とにした少なくとも二本の恒久的に形成された折り曲げ線(3)を該物品の長手方向に形成していることと、上記縁部分(7, 8)の外側ケーシングシートの長手方向に延びた部分(21, 22)が、使用者に対して見ると、それぞれの縁部分(7, 8)の中間部分を湾曲させるように上記ケーシングシートの別の長手方向に延びる部分(23, 24)に接合されていることと、該部分を相互に接合された状態に恒久的に固定するための接合手段(20)が設けられることによって上記中央方向の細長い部分(6)の外側に上記縁部分の湾曲部分が内側に直立する堤防壁を形成するようにしたことを特徴とする吸収性物品(1, 1')。

2. 前記縁部分(7, 8)が二重に折り曲げられていることと、前記接合手段(20)が前記縁部分の外側縁部域(21, 22)を物品着用時に着用者から遠い方の側で物品の外面と接合させる役目をすることを特徴とする請求の範囲1に記載の物品(1, 1')。

3. 前記接合手段(20)が外側縁部域(21, 22)を物品を物品の横方向に見る時、中央部分の外側で前記部域(23, 24)と接合させる役目をすることを特徴とする請求の範囲1または2に記載の物品(1, 1')。

4. 前記接合手段(20)が前記外側縁部域(21, 22)を前記中央部分(6)と接合させる役目をすることを特徴とする請求の範囲1または2に記載の物品(1, 1')。

5. 前記吸収性パッド(12)が前記液浸透性シート(2)に最も近い場所においてゆるく固められた繊維ワッディング(11)の層を組み入れ、該繊維ワッディング(11)が弾性復元特性を有することを特徴とする前記請求の範囲各項のいずれか1項に記載の物品(1, 1')。

6. 前記繊維ワッディング(11)の繊維がポリエステル繊維、ポリプロピレン繊維、ポリエチレン繊維または該各繊維の混合物であることを特徴とする請求の範囲5に記載の物品(1, 1')。

7. 前記折り曲げ線(3)がシーム接合よりなることを特徴とする前記請求の範囲各項のいずれか1項に記載の物品(1, 1')。

8. 前記折り曲げ線(3)が接着剤接合よりなることを特徴とする前記請求の範囲各項のいずれか1項に記載の物品(1, 1')。

## 明 細 書

## 吸収性使い捨て物品

本発明は着用時には着用者の身体に最も近い所にくる液浸透性ケーシング層と、液不浸透性ケーシングシートまたは裏当てシートと、これら二枚のケーシングシート間に包入された吸収性パッドとよりなる例えばおむつ、失禁防護帯または同類物品など吸収性使い捨て物品に関する。

子供のおむつまたは成人の失禁防護帯用に使用されるおむつは排泄が通過する不織層と、例えば所謂高吸収剤と任意に組合せた纖維素フラフ(fluff)の吸収性層と、例えばポリエチレンの液不浸透性層とより構成されるのが普通である。製法技術的性質を理由にして、こうした物品は平らな長方形状に造られることが最も多い。しかし、このような製品形状は使用者の体形が平らなどと言えたものではないことから見て好ましいものではない。

着用時物品の側面から横方向に漏れるのを防止するためには、液が物品の側面から逃げ出すことがないように物品が折り曲げられるとか、しわがでるとかにならないようにすることが大切である。折り曲げおよびしわに関連する問題は着用者が歩いたり、座ったり、またその他の運動時に顕現することは当然である。これは着用者の腿によって物品がこれに組入れられた吸収性パッドを主として横方向に著しく変形させるに十分な大きい外圧を受けることが理由である。従って、物品の股部分が比較的狭くなるように物品の形状を作ることが大切である。股部分とは物品の

このような物品を製造する場合、初めは平らで長方形のおむつの外側の細長い部分をその中央の細長い部分へ向けて折り曲げ込むことはよく知られている。この意図する所はおむつの両端部よりも幅の狭い股部分を得ることにある。この形式のおむつは一般に翼折りたたみ(wing-folded)おむつと称せられ、この種おむつの一つの例は英国特許番号3875943号に図示記載されている。しかし、これにも拘らず、翼折りたたみおむつは平らと考えられるべきものであるとおむつの両側縁まで延び出るおむつの股部分が折れ曲ったり、あるいはしわがでたりするため漏れがおこる。この翼折りたたみおむつの今一つの欠点は使用者が、これを使用したいと思う時、おむつの両端部の内側へ曲った側面部分を延ばすことが必要で、これが製品の取扱いを複雑にしているということである。

股部分をおむつの両端部分より狭くしたものを提供するため初めから設計したおむつは、例えば米国特許番号2627868号から公知である。このおむつは一般に鼓形おむつと称されている。他のおむつ形状には例えば米国特許番号3768479号から公知の丁字形がある。このようなおむつ形状の全ては着用者の股部分における体形に関連しているが、それでも平らな形状を取っていて翼折りたたみおむつと同様に、一般には着用者の体形になじみがよくなく、平らな吸収性物体はこれを着用者の身体の周りに上方へ折り曲げる時には横方向に折れ曲ったりあるいはしわになったりしがちである。

着用時に着用者の両腿間にくるようにした物品の部分の意味である。最大量の排出液を受取る責任のあるのは正に物品のこの股部分であるので、狭くても、この股部分が液を速やかに効果的に集めて吸収すると同時に横方向の良好な封止をおこなうことが極めて重要である。

横方向の漏れは製造時に物品の前端および後端部分よりも股部分が狭くなるように形成するだけでは解決できない。その理由はこのようにしても物品は平らな形にしている。これを着用した人の身体に沿って吸収性パッドが折れ曲がる時に股部分がしわになったり曲ったりするからである。本質は不織材料でできている現在市販のこの形式のおむつや失禁防護帯形式の衛生品に用いられている液浸透性材料は液が、特に成人の失禁の場合におけるごとく、急速に大量に排出された場合、こうした液のうち若干の量は表面材料の上面に残り、これが吸収性パッドと使用者の身体との間にある折り曲げ部分やしわ部分を通して漏れ出す。これは今日の吸収性物品の主力材料である吸収性材料即ち纖維素フラフが非常に細い纖維でできているので各纖維間の凹所が局部的に一杯になり、そのため吸収されずに残っている液が直ぐに材料に吸収されずに表面材料の上面に残留せざるを得ないことによるものである。

衛生用品はまた排出された液が液浸透性外側材料を透過する期間中もまた吸収性パッドによって液の吸収が終了後も外圧を受けている間大量の液を受取って保持できなければならない。

米国特許番号4685814号には吸収性パッドまたは吸収性物体をボート形の発泡ポリエチレンシエルの形で応用したおむつまたは失禁防護帯の実施例が図示されている。しかし、別個の外側溜め皿(basin)を液不浸透性ケーシングとして使用したことは高価になるしまた複雑でもある。

米国特許番号4655759号には衛生タオルにエンボスされた波路を設けてこれに沿ってタオルの長手方向に延びる縁部分を折り曲げて一種の容器を形成した衛生タオルを提供して漏れる危険を少なくしようとする方法が開示されている。

しかし、実際には衛生タオルのしわまたは折り曲げは着用者の腿がタオルの長手方向に加わる圧力の結果だけでおこるということである。その結果、真に漏れない領域がエンボスされたみぞ間に形成できるのは多少の差こそあれ偶然である。タオルの縁部分は原則として着用者の腿の力を受けるとどのようにでも曲ったり、曲りと同様な変形をおこすので漏れない領域が得られるなどという保証はどこにもない。失禁防護帯およびおむつに比べて、衛生タオルは液の吸収量がずっと少ないことを意図して造られており、その受ける液流量はずっと少ない。

本発明は解剖学的に各部の形状が造られ、吸収前および吸収後とも大きな液収容量を備え且つその吸収が迅速で、高生産速度で低コストに、簡単な製造装置で大した材料の無駄もなく連続的に製造できるおむつまたは失禁防護帯

などの吸収性物品を提供することに関する。

本発明の吸収性製品は物品の長手方向に恒久的に延び物品を少なくとも一部分にわたって分割して中央に長手方向に延びている部分とこの中央部分の両側に対称的に配置された縁部分とした少なくとも二つの折り曲げ線を設けたことを主な特徴としている。

簡単な製造方法を用いて、本発明では先ず吸収性物品に組入れられた全ての材料よりなる平らなブランクを出発材料とする所望の三次元構造を提供する製品の製造が可能である。従って、複数の付加製造工程を必要とし製造を高価にし実施を困難にする別途の射出成型の発泡プラスチックシェルの造る必要がない。

さらに、縁部分を上向きに折り曲げる結果、折り曲げ線に沿って液を閉じ込める堤防が形成され、これらの堤防が同時に折り曲げ線、例えば一度に大量に排出された液が本発明品の細長いダムを造っている中央部分に収集されることを可能にするような折り曲げ線が配置された物品の部分において使用者の身体との主たる接触面を形成している。

液は、このようにして物品のダムを形成した中央部分が未だ吸収されていない液の漏出に対して効果的なバリアを形成すると同時に使用者から取り去られて保持される。

吸収物品に重要な主として二つの特性、即ち物品は液が物品の縁を越えて流れ出すことなく瞬時に排出された大量の液を吸収できると、物品がその液吸収後に着用者に乾いた表面を提供することという二つの特性がある。本発

明構造の物品はこれら二つの特性を備えると共にほかにも快適性と着用における自身の判断といった吸収性物品に望ましいほかの特性を持っている。

本発明に従って構成された吸収性物品について以下に添付の図面について例として示す実施例についてさらに詳しく説明する。

第1図は物品の着用者に向けるようにした側面図を見る者の方に向けた本発明物品の上面から見た平面図である。

第2図は第1図のII-II線に沿った第1図に示す吸収物品の断面図である。

第3図は着用者に向けるようにした側面図を見る者の方に向けた本発明物品の上から見た別の実施例の平面図である。

さて図について、第1図は吸収性物品1を示す。物品1は着用者の身体に最も近い表面材料として取付けられる不織繊維材料製の液浸透性シート2よりなる。

シート2は二本の長手方向に延びる正弦曲線状折り曲げ線3によって例えば縫接縫合または接着縫合によって下側にくる吸収性パッドと接合される。この場合、折り曲げ線3は物品1を中央部分6と二つの側面部分7、8とに分割する役目をしている。部分6、7および8は比較的細長く、即ち物品の長手方向への延長はその横方向の延長より大である。図から理解されたとおり、後側および前側の端部分9、10は相互に同じ形状で、端部9および10を封止する複数の別個の接合4および5が設けられている。接合

部4および5は例えばシーム縫接または接着縫合である。

折り曲げ線がシーム縫接によって形成されると、縫目ほどの従来の縫接技術によってでも、例えば超音波縫接、衝撃縫接または高周波縫接によって製造できる。

図示の折り曲げ線3は第1図に示された正弦曲線状パターンに限定されず、直線または弧状であってもよい。この折り曲げ線は一本だけの折り曲げ線かまたは三本以上の多数の折り曲げ線を設けることも考えられるけれども二本の折り曲げ線3を設けることが好ましい。

本発明の一実施例(図示せず)によれば、物品の可換性を増加するため折り曲げ線は連続線に沿って配置され第1図の折り曲げ線で形成されたパターンと同様なパターンまたは任意所望のパターンを形成する二つの点状の縫目で形成することができる。本発明の範囲もこの折り曲げ線の長さによって限定されることはない。しかし折り曲げ線は物品の液受取り部分、所謂ぬれ場所が縁部分7、8で枠組みされ、これで中央部分6の領域を構成するように位置決めさせることが必要である。この点において述べておくべきことは折り曲げ線3間の距離は任意所望の値でよく本発明の範囲を限定しないということである。

それぞれの端部分9、10における縫い目または接合部4の数は三つ以下または三つ以上でもよくまた全部除外することもできる。折り曲げ線3と同様に、縫い目4は別個の点状接合の形にすることもでき、あるいは曲線の形を任意にした連続の曲線状縫い目よりできていてもよい。縫い

目4は着用者の身体と物品との接触面が小さくさせて着用時の着心地をよくする。

第2図は本発明による縁部分7、8の上向き折り曲げの例を示す。ここに使用される表現「上向き折り曲げ」は全体として見た場合、折り曲げ線の外側に所在する縁部分が着用者に向っての方向に見て中心部分に対し上へ立上った堤防乃至は同様な壁を形成する縁部分を折り曲げるかまたは曲げる方法の全てを含むものである。例えば、第2図に示すごとく、縁部分は長手方向に折り曲げることができ、これで外側の長手方向に延びる部分は着用者から離れる方向へ折り曲げられる。この折り曲げを適当に固定することによって縁部分の横方向延長が減少してこの縁部分の垂直方向の延長または高さの延長が増加するので縁部分は直立の堤防壁を形成する。

液浸透性シート2の真下には繊維ワッディング体11がある。このワッディングは全体を符号12で示す吸収性パッドの一部を形成し排出された液を受取って液が速やかに吸収性パッドを流通することを可能にしている。ワッディングはなるべくゆるく詰め込まれて乾燥状態でも弾力性でも弾力性がある。繊維ワッディング11は例えば熱可塑性溶融性繊維、例えばポリエステル、ポリプロピレンまたはポリエチレンの各繊維またはこれらの繊維の混合物よりなっている。所謂コンジュゲートファイバはこの点で適当な繊維である。コンジュゲートファイバとは二種類のポリマ、例えばポリプロピレン/ポリエチレン、ポリエス

ル／ポリエステル、ポリエステル／ポリエチレンよりなる繊維のことである。繊維ワッディング11は織成構造でもまたは不織構造にしてもよく、本発明の概念を逸脱しない。熱および接着作用物は繊維ワッディングを複合できる手段の例である。接着性接合剤は例えばラテックスであってもよい。ワッディングはまた疎水性または親水性にすることができる。叙上の特性を示す天然繊維もまた使用可能であることは勿論である。

吸収性パッドのうちワッディングの下側にくる部分は複数の組織層15間に粉体の形で配置される二層の高吸収体材料13、14よりなる。高吸収体材料は粉体以外の形でもよく、例えば繊維の形を取っていてもよい。高吸収体材料とはその自重の数倍に相当する液量を吸収できる材料のことである。それぞれの層における高吸収体は本質的には吸収特性、吸収率、圧力を受けた時の液保持能力に関して差異がある。層14における高吸収体は非常に高い吸収率を有するが、層13の高吸収体は圧力を受けた時に極めて顕著な液保持力を持っている。組織層15の各々は一層またはそれ以上の組織層よりなる。組織以外の他形式の搬送材料、例えば不織材料を使用することもまた考えられるところである。

吸収性パッド12の下側に、またこのパッドと物品全体を周って周面方向に延びる液浸透性シート2との間に、例えばポリエチレンまたはポリプロピレン製の液不浸透性シート16が配置されている。液浸透性シート2は例えば接

る傾向を打消す。従って、本発明によれば、着用者の腿が物品をその横方向に変形させるといふ明らかに不利な事実が有益に利用されて液の収集と漏れという両方の見地から著しく改良された吸収性製品または物品を提供する。縁部分7、8は次の請求の範囲内で幾多の方法で折り曲げ固定できる。

従来からの慣用材料以外の材料から本発明の物品を構成することによって、折り曲げ縁に沿って物品の縁部分を上へ折り曲げることによって三次元物品を得ることができるのみならず、吸収性材料を主に繊維素フラフにした伝統的構造の吸収性材料を主に繊維素フラフにした伝統的構造の吸収性パッドの場合におけるよりも著しく改良された保液性と着用者の皮膚に対しより乾燥した対接表面とを得ることができる。繊維素フラフは圧力を受けると吸収した液を排出し着用者の身体に最も近い表面材料を湿らせるかまたはぬらし、その結果着用者の不快感を増大するという欠陥を有することが普通である。繊維ワッディングを液不浸透性材料の表面材料のすぐ下に配置する結果、物品は乾燥表面を得ると共に同時にワッディングが着用者の皮膚に当たって柔らかく心地よい材料の層を提供する。この繊維ワッディングは繊維素フラフに比べて非常に粗大な毛細管を含んでいるので液は繊維ワッディング内に非常に迅速に移送される。

さらに、繊維ワッディングは吸収性パッドに吸収された液を着用者の身体から遠ざける。この場合には物品が若干

着剤を用いて液不浸透性シート16に接合されているが、繊維ワッディング11は縫い目または接合場所3、4および5を除いて液浸透性シート2にも液不浸透性シート16にも接続されていない。液不浸透性シート16は物品の両側から漏れるのを防ぐ付加的防護を与える上向きに持ち上った縁部分7、8に沿ってある範囲まで上方へ延びている。液不浸透層16は縁部分9、10の縁の周りを第1図に破線17で示すごとく縁より僅かに内側へ延びている。

縁部分7、8は接合手段20、例えば接着性接合剤または点状溶接によって二重に折り曲げられて接合され、液浸透性シート2の部域21、22は使用者から遠ざかる物品1の側面、即ち物品の裏側の同じ各縁部分7、8内でシート2の別の部域23、24に接合されている。接合剤は例えば一つまたはそれ以上の接着点の形式で付与される。点状溶接接合部の数は一つまたはそれ以上とすることができる。

物品の縁部分7、8がこのように折り曲げられ物品の裏側25に固定されると、縁部分7、8はその横断面に見て、この縁部分7、8が物品の高さ延長に見て中央部分6に對し高く持ち上げられた位置まで直立すると同時にこの中央部分6に向って凸面形をつくり出す。物品を使用している時は、着用者の腿は縁部分7、8を中央部分6へ向って押圧するが上方へもり上った位置にある縁部分7、8は中央部分6へ内側へ湾曲しているため、発生する圧力は中央部分6の通防造成作用をさらに強め、縁部分7、8がとぎれ

の時間使用中であっても吸収性物品の表面は乾いていて不快感を与えない。繊維ワッディングまたは物品の形状を作り上げるのに役立っている。

適当な材料を選ぶことによって、表面材料と繊維ワッディングと吸収性パッドとの間の、または着用者から遠い物品の側から見て、表面材料とプラスチックバリア層と吸収性パッドとの間の耐久性接合を例えば接着により、または溶接によりゆったりとかさばったワッディング層に送り出すことができる。繊維ワッディングは熱可塑性繊維を含み非常にかさ高くもあるので、ワッディングに深いはっきりした折り曲げ縁を形成し、この縁の外側には物品の縁部分がこの部分間に所在の物品の中央部分に通防を作るように折れ曲って上り、中央部分に対し縁部分の上方へ持ち上げられた位置に固定される。

物品の裏面25には接着層またはストリップ18が付着され、このストリップにより物品を着用しようとする時は使用者の下着に物品を着脱自在に取付けることができる。この接着層18は使用前には保護ストリップ19によって保護されていて、ストリップ19は接着層18に向いた側が好ましくははく離剤で処理され物品1を着用しようとする時には即効使用のため接着層18を露出するように簡単に除去できる。

第3図は参照符号1'を以て吸収性物品の別の実施例を示す。物品1と同様に、物品1'は着用者に最も近く配置された液浸透性シート2と、二本の長手方向に延びる折り

曲げ線3と、中央部分6と、二つの端部分7、8と、物品の端部分9、10をふさぐ端シール5とを組み立てて、後端部分9は糞便を受入れられるように前部部分10よりずっと大きい。物品1'はその後端部分9'が大きいため、先の実施例の物品1より大きな吸収性パッドを包み入れることができるので物品1'は物品1が目的としている液の量よりもずっと大量の液、例えば成人の失禁を吸収することができる。

多数の変形実施例が請求の範囲内で考えられる。例えば、物品の表面に作られる折り曲げ線をさらに拡大する目的で物品の裏面にも作ることができる。当然のことながら、繊維ワッディングの層もまたこの場合は吸収パッドと液不透過性シートとの間に位置決めすることができる。従って、物品に組み入れられた材料の全ては材料に関して折り曲げ線に沿って接合一体化することができる。

折り曲げ線での場合は例えば縫合させ、接着、溶接による種々の方法があるが、これらの方法もまた組合わせることもできる。例えば、液透過性シートは繊維ワッディングに溶接する一方、ワッディングを曲げ線に沿って吸収性パッドに接着することができる。

図示の例として挙げた実施例を参考に記載の吸収性パッドに加えて、殊かに当業技術者には公知のパッド構造が本発明の物品に組み入れ可能である。例えば、第2図を参考にして記載した吸収性パッドはその一面または両面に配置した組織または同類物の多数の層で補強することができる。

また繊維素フラフ、これに高吸収体を任意に混入させて造った吸収性パッドを使用することもできる。さらにまた吸収性パッドに吸収機能はないが周囲を包んでいる熱可塑性シートへの接合を向上させるのに役立つ材料を混和することもできよう。このような材料は例えば熔融繊維よりなる。知ってのとおり、繊維ワッディングは所望によっては全部除外することもでき、この場合には物品は高吸収体その他の吸収性材料を加えるかあるいは加えずに、繊維素フラフよりなる吸収体を含むだけになろう。

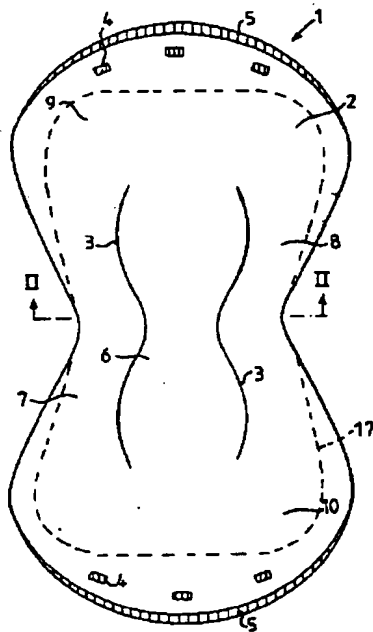


FIG.1

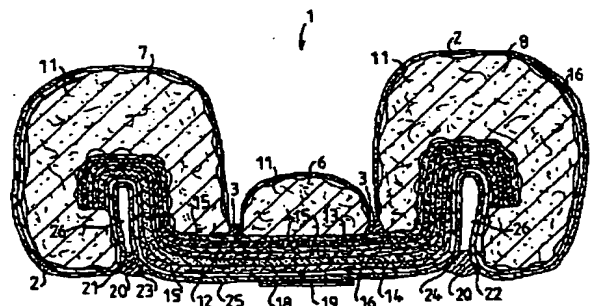


FIG.2

国際調査報告

International Application No. PCT/SE 90/00376

1. CLASSIFICATION OF SUBJECT MATTER	
Inventor's classification (IPC) or to the International Classification and IPC	
IPC: A 61 F 13/48	
2. FIELD OF SEARCH	
Classification System	Classification System
IPC	A 61 F
Representative character other than International Classification	
In the Event that a new document has been included in the Search Report	
3. EXAMINER'S CLASSIFICATION	
4. DOCUMENTS CONSIDERED TO BE RELEVANT	
Category	Relevance to the International Application
A	US, A, 4655759 (ALICE V. ROHNS-HESS ET AL.) 7 April 1987. see the whole document
5. SUMMARY OF THE INVENTION	
6. STATE OF THE ART	
7. BRIEF DESCRIPTION OF THE DRAWINGS	
8. BEST MODE FOR CARRYING OUT THE INVENTION	
9. OTHER MATTERS	
10. OTHER MATTERS	
11. OTHER MATTERS	
12. OTHER MATTERS	
13. OTHER MATTERS	
14. OTHER MATTERS	
15. OTHER MATTERS	
16. OTHER MATTERS	
17. OTHER MATTERS	
18. OTHER MATTERS	
19. OTHER MATTERS	
20. OTHER MATTERS	
21. OTHER MATTERS	
22. OTHER MATTERS	
23. OTHER MATTERS	
24. OTHER MATTERS	
25. OTHER MATTERS	
26. OTHER MATTERS	
27. OTHER MATTERS	
28. OTHER MATTERS	
29. OTHER MATTERS	
30. OTHER MATTERS	
31. OTHER MATTERS	
32. OTHER MATTERS	
33. OTHER MATTERS	
34. OTHER MATTERS	
35. OTHER MATTERS	
36. OTHER MATTERS	
37. OTHER MATTERS	
38. OTHER MATTERS	
39. OTHER MATTERS	
40. OTHER MATTERS	
41. OTHER MATTERS	
42. OTHER MATTERS	
43. OTHER MATTERS	
44. OTHER MATTERS	
45. OTHER MATTERS	
46. OTHER MATTERS	
47. OTHER MATTERS	
48. OTHER MATTERS	
49. OTHER MATTERS	
50. OTHER MATTERS	
51. OTHER MATTERS	
52. OTHER MATTERS	
53. OTHER MATTERS	
54. OTHER MATTERS	
55. OTHER MATTERS	
56. OTHER MATTERS	
57. OTHER MATTERS	
58. OTHER MATTERS	
59. OTHER MATTERS	
60. OTHER MATTERS	
61. OTHER MATTERS	
62. OTHER MATTERS	
63. OTHER MATTERS	
64. OTHER MATTERS	
65. OTHER MATTERS	
66. OTHER MATTERS	
67. OTHER MATTERS	
68. OTHER MATTERS	
69. OTHER MATTERS	
70. OTHER MATTERS	
71. OTHER MATTERS	
72. OTHER MATTERS	
73. OTHER MATTERS	
74. OTHER MATTERS	
75. OTHER MATTERS	
76. OTHER MATTERS	
77. OTHER MATTERS	
78. OTHER MATTERS	
79. OTHER MATTERS	
80. OTHER MATTERS	
81. OTHER MATTERS	
82. OTHER MATTERS	
83. OTHER MATTERS	
84. OTHER MATTERS	
85. OTHER MATTERS	
86. OTHER MATTERS	
87. OTHER MATTERS	
88. OTHER MATTERS	
89. OTHER MATTERS	
90. OTHER MATTERS	
91. OTHER MATTERS	
92. OTHER MATTERS	
93. OTHER MATTERS	
94. OTHER MATTERS	
95. OTHER MATTERS	
96. OTHER MATTERS	
97. OTHER MATTERS	
98. OTHER MATTERS	
99. OTHER MATTERS	
100. OTHER MATTERS	

FIG. 3

国際調査報告

PCT/SE 90/00376

This report contains the search results relating to the international application. The search was conducted in the Swedish Patent Office (SPO) on 30-09-92. The Swedish Patent Office is not responsible for errors or omissions in the report.

Patent document number in Swedish patent	Publication date	Patent number number	Publication date
US-A- 4655759	87-04-07	NONE	



第1頁の続き

⑤Int. Cl.

識別記号

庁内整理番号

A 61 F 13/15

⑥発明者 エイテルヨルド, パルド

スウェーデン, エス-434 96 クンクスバツカ, エルスポロ 684  
3

⑦発明者 ヘルマンソン, ヨナス

スウェーデン, エス-412 61 ゲーデボーク, ホルムスカラレガ  
タン 2

【公報種別】特許法第17条第1項及び特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成9年(1997)12月9日

【公表番号】特表平4-506022

【公表日】平成4年(1992)10月22日

【年通号数】

【出願番号】特願平2-509779

【国際特許分類第6版】

A61F 13/15  
5/44  
13/00 351

【F I】

A41B 13/02 K 7535-3B  
A61F 5/44 H 7108-4C  
13/00 351 F 7019-4C

手続補正書

平成9年5月8日

特許庁長官 殿



## 1. 事件の概要

平成2年特許願第509779号

## 2. 発明の名称

吸収性使い捨て物品

## 3. 補正をする者

事件との関係 特許出願人

名 称 メールリニュー アーバー

## 4. 代理人

住 所 〒550 大阪市西区土佐堀1丁目2番20号  
新栄ビル5階 TEL(06)461-1816

氏 名 (5959) 伊藤士 安 達 光 雄



## 5. 補正の対象

請求の範囲の欄

## 6. 補正の内容

別紙のとおり。

以



## 別 紙

## 請求の範囲

1. 吸収性物品の着用時に着用者の身体に最も近くになる被浸透性ケーシングシート(2)と、液不浸透性ケーシングシート(16)と、該二枚のケーシングシート間に埋入された吸収性パッド(12)とよりなるおむつ、大装防護傘など一度使用だけを目的とした吸収性物品(1、1')において、該物品が少なくともその一部分にわたって該物品を分割して中央方向の縦長い部分(6)と該縦長い部分の各端に対称的に配置された二つの縦部分(7、8)とにした少なくとも二本の恒久的に形成された折り曲げ線(3)を該物品の長手方向に形成していることと、各縦部分(7、8)の外周ケーシングシートの長手方向に延びた部分(21、22)が、図1各に対して見ると、それぞれの縦部分(7、8)の中間部分を湾曲させるように二対の外周ケーシングシートの間に長手方向に延びる部分(23、24)に接合されていることと、該部分を相互に接合された状態に恒久的に固定するための横介手段(20)が設けられることによって下部(6)の外周の上記縦部分の両端部分が内側に内立する屈曲部を形成するようにしたことを特徴とする吸収性物品(1、1')。

2. 前記縦部分(7、8)が二重に折り曲げられていることと、前記横介手段(20)が前記縦部分の外周縁部域(21、22)を物品着脱時に着用者から遠い方の側で右左の外周と接合させる役目をすることを特徴とする請求の範囲1に記載の物品(1、1')。

3. 前記横介手段(20)が外周縁部域(21、22)を物品を物品の横方向に見ると、中央部分(62)の外周で前記部域(23、24)と接合させる役目をすることを特徴とする請求の範囲1または2に記載の物品(1、1')。

4. 前記横介手段(20)が前記外周縁部域(21、22)を前記中央部分(6)と接合させる役目をすることを特徴とする請求の範囲1または2に記載の物品(1、1')。

5. 前記吸収性パッド(12)が前記液不浸透性シート(2)に最も近い場所においておむつに縫合された固定フロッピング(11)の層を穿入し、該固定フロッピング(11)が吸収性底元材料を有することを特徴とする請求の範囲1乃至4

のいずれか1項に記載の物品(1. 1')。

6. 前記繊維フロッピング(1.)の繊維がポリエステル繊維、ポリプロピレン繊維、ポリエチレン繊維または該各繊維の混合物であることを特徴とする請求の範囲に記載の物品(1. 1')。

7. 前記折り曲げ線(3)がシーム線よりなることを特徴とする請求の範囲1乃至6のいずれか1項に記載の物品(1. 1')。

8. 前記折り曲げ線(3)が接合部線よりなることを特徴とする請求の範囲1乃至7のいずれか1項に記載の物品(1. 1')。

**THIS PAGE BLANK (USPTO)**